

moon



MOON HOTELS MAGAZINE
Vol. 4
2015
Summer



Island Break



限りなく透明で、あまりにも美しい色！
沖縄の海を見たら、
誰だって飛び込んでじゃぎたくなる！
ムーンビーチの太陽の下なら、
誰でもアイランド・ブリーク！



①レスキューボードを抱えて訓練中のライフガード ②茅葺き屋根が印象的な東屋がビーチカウンター ③マリンスポーツに関するご相談は何でもどうぞ ④毎朝の環境整備風景 ⑤ウェイクボードや水上スキーもスタンバイ ⑥風のポイント・ムーンビーチでは、双胴式ヨット・ホビーキャットやモノハル小型ヨット・ディンギー、ウィンド・サーフィンも楽しめる ⑦海上を飛ぶクールなホバーボード ⑧インストラクターがマリンスポーツを教えてくれるキッズ限定お子様マリンスポーツ教室 ⑨ビーチの注目を浴びること間違いなしのフライボード。女性でもエンジョイできる！

MOONBEACH MARINE RESORT

海が大好きという気持ちなら誰にも負けない、ムーンビーチのマリンスタッフ。最近の注目はフライボード。海の上を飛ぶのは楽しそうだけど、初心者には難しそうにも見える。

「ウェイクボードより簡単ですよ」と答えるのはマリン担当3年目の横江光亮。実は、昨年の全日本フライボード大会で3位入賞、ドバイで行われた世界大会では13位(日本人トップ)という実力の持ち主。彼に技術的アドバイスをもらおうと、指名するリピーターも多い。

「上に飛びたい人にはフライボード、水面で動きたい人にはホバーボードがオススメ。実はフライボードのほうが簡単で、初めての方でも9割は1~2mの高さを飛べます。80歳の方が飛んだ時は、もう僕らも最高にうれしかったですね！」

一方、不動の人気はシーウォーカー。スポーツに自信のない人も、泳げない人も手軽に水中散歩が楽しめる。「シーウォーカーのポイントが本当にキレイなんです。水深3mぐらいと浅くて、明るくて。サンゴも魚も豊富で、どこにも負けないと思いますよ。皆さん童心に返られるのか、ご高齢の方ほどワクワクされている印象。これまでの最高齢は86歳で、『まさか生きてる内に海の中が見られるなんて』と大喜びされました。言葉では表現できない海の中の美しさをお客さまと共有・共感できるのは、この仕事の醍醐味です」とはムーンビーチ歴2年目の堀口剛。お客さまが安心して遊べるように安全管理はしっかりと行いながら、今日も大好きな海でお客さまと遊ぶ、いや、仕事をするのだ。



HOVER BOARD



FLY BOARD

Moove with the sun!



FULLY ENJOY A PRIVATE ISLAND VACATION

プライベートアイランドを満喫する バケーション

ディープな自然を楽しむなら、ホテルムーンビーチのプライベートアイランド・ナツプ島へ。専用栈橋からボートに乗って、約15分。海上から見る沖縄本島の表情も、潮風を体いっぱいを受けてアドベンチャー気分の一歩トリップも、なかなか新鮮だ。

島へ近づいてくると海の透明度はますますアップ。その日の天候にもよるが、島のビーチが近づくと、船の上からでも海底まで透き通って見えることが多い。ムーンビーチの、十二分に美しい天然のビーチを見慣れたはずの人も、沖に浮かぶ無人島のビーチの美しさは別格だと実感するだろう。

島に到着すると、待っているのはナツプ人のウェルカムダンス。「あれ？無人島では？」なんて思う間もなく、ナツプ人たちの陽気さに、ここは南太平洋の島なのか…不思議な感覚でいっぱい。

島での楽しみ方は、気の向くままに。とはいえ、この海を前にして何もしないではいられない！まずはシュノーケリングから楽しもう！ナツプ島のシュノーケリングは、ダイビングと同じように海中の美しい世界が体感できる。浅いところにもサンゴが豊富で、カクレクマノミをはじめ、クマノミは5種類が生息している。色とりどりのサンゴの中で、ハツとするほど美しいブルーのルリスズメダイや愛嬌たっぷりツノダシが戯れるように泳ぐ姿は、まさにパラダイス。いつまで眺めていても飽きない。

波のおだやかなリーフの中でもうひと遊びするのなら、オプションのシーカヤックがオススメ。パドリ



NAP ISLAND

ングをするたび、カヤックはキラキラと陽射しをはね返しながら水面を切って進む。

海遊びをひと通り楽しんだら、島にあがって探検！亜熱帯の植物を観察したり、リクガメやイノシシ、ワカケホンセイインコなどの動物と戯れたり。ランチ後、木陰のハンモックでのんびりとまどろむひとときも、ビーチチェアでくつろぐひとときも、何物にも代えがたい充足感を与える。ただ時の流れを楽しむ。これこそまさに、アイランド・タイム。ナップ島で遊ぶなら、せわしない日常に引き戻されてしまう携帯やタブレット、それに腕時計も、ホテルの部屋に置いて来るのが正解だ。

沖縄の自然、その懐の深さを感じるナップ島。入域者数が制限され、環境が守られているため、オンシーズンでも混んでいる。という印象がない。心ゆくまでその美しさを堪能できる。また、無人島とはいえ野ざらしではなく、スタッフによって危険がないよう環境が整備されているのも安心。アウトドア用のギアなどを用意する必要は一切なく、とにかく「のんびりすること」に専念できる。さまざまなアクティビティで遊べるムーンビーチも楽しいのだが、さらにゆったりできるのがナップ島。沖縄本島ステイの便利さはそのままに、離島の自然の美しさはプライベート・アイランドでしっかり楽しむ。そんな賢い過ごし方が、ここでもならかなえられる。陸の上も、海の中も、多様ないのちに満ちている小さな島。おだやかな自然のエネルギーを感じられる。もうひとつの旅が、そこにある。



Island Break

慌ただしい日常から解放されて、ビーチでサンセットを眺める。暮れてゆく太陽や空の風景が変化してゆく様子に身をまかせるような時間が、ほんとうは大切なのだと思いつき、ハッピーな気持ちに包まれる夕暮れ。

ムーンビーチでも、サンセットタイムになるとビーチに人が集まってくる。空も海も夕暮れ色に染まり始めると、カメラや飲み物を手にした人たちが、海に沈む夕日越しのシルエットになる。

呼吸するように打ち寄せる波、溶けてゆくように刻々と変化する光と空の色。その中にたたずむと、体の内側に自然のリズムを取り戻していくよう。ここからは自然体になっっていく。

そんな気分を、さらに自由に、そして楽しくさせてくれるのが音楽。ビーチカルチャーから生まれた音楽は世界中に数知れない。マリンスポーツ、音楽、ファッション、そしてアート。日本でビーチカルチャーが生まれた頃、メインストリームにいたのは若者だった。時を経てそれは世界のビーチカルチャーと融合。ボサノバやジャズ、ハワイアンなど、海に似合う心地よい音楽が聞こえてくると、



大人のビーチカルチャーも成熟した。LANAI^{※1}では、サンセットに合わせて、風が音楽をはこぶ。そして太陽と海が美しいパシフィックリムをテーマにしたセレクトショップ KONA^{※2}で見つけたファッションアイテムを身にまとい、そのままオンザビーチのスタイルになる。リゾートギャラリー MB Gallery^{※3}も、海辺の風や光を五感で感じるアートが無料展示された。ムーンビーチらしい癒しの空間だ。

青い空の下では海で遊び、サンセットからは音楽とフード&ドリンク、そして仲間とおしゃべり。今夜も、最高のビーチ遊びのラウンド2が始まる。

自然の中で潮風をほほに感じると、開放的な心地よさに感性が解きほぐされていく。海遊びにはしゃぐ気持ちは、アイランド・フリークのライフスタイルには欠かせないものだ。

まるごと一日を海のリズムにまかせ、夜は波音を子守唄に月の下で目を閉じる…。オンザビーチという環境で、そんな豊かな時間を自然体で過ごせるのがムーンビーチなのだ。

※1. Moon Beach 1F/ラウンジ・バー「ラナイ」 ※2. Moon Beach 1F/セレクトショップ「コナ」 ※3. Moon Beach 2F/リゾートギャラリー MB Gallery

Best Beach Freak

春に潜ると、クジラの声が聞こえる。
沖縄の海ってホントにすごいんです！

*I can hear the whale's song when I dive in spring time.
Okinawan sea is so amazing!*



福本 幸子 (JUDY) ふくもとさちこ

美ら島沖縄大使。座間味村観光大使。アメリカ生まれ、沖縄育ち。5カ国語話すマルチリンガル。13歳でモデルとして芸能活動をスタート。広告、ランウェイの他に、ラジオ、作曲、執筆と幅広くグローバルに活動。近年は映画やドラマ等の女優業に加え、監督やプロデューサーとして水中映像を制作、発信し続けている。数々の特殊な資格を保持。趣味は海、車、旅。渡航国30カ国以上。

13歳でモデル活動を始めて、台湾でモデル・女優としてブレイクしたJUDYさん。アジア各国や東京でも仕事をしながら、今、沖縄に生活の比重を戻しているという。

「沖縄にいる時は毎日のように海です。波がある時はサーフィン、ない時は素潜り。海外でも潜るから、沖縄の海が一番キレイっていう自信がある！透明度が高くて、いろんな生き物がいる。これだけ条件が揃う海はないですよ。特に慶良間諸島は素晴らしい。沖縄の海を守ろうよって本気で思います」

子どもの頃から海に親しんできたという、生粋のビーチフリークだ。

「家族で海に行くと言ったら、ムーンビーチでした。おじいちゃん、お父さん、私と親子三代で海に入るのが大好き。ここのビーチは本当に変わりませんね。私にとって、ビーチの原点なのかも。県外から沖縄に来たお客さんを連れて行くなら、恩納村の海です。絶対間違いないから」

2年前から自身で監督・出演する水中映像作品を撮り始め、ますます海中心の生活になったと語る。「陸では自分のイメージの通りにカラダを動かしますが、水中だとそうはいかない。納得いくイメージでキレイに撮りたくて、トレーニングを始めました。もうひとつ、ハマっているのがフリーダイビング。自己ベストは45メートルですが、私なんかまだまだ。いつか競技にも出たいと思っています。今は、毎日海でトレーニングして、アスリートみたい(笑)。海と生活するようになって、潮の満ち引き、月のサイクルと体がリンクして、宇宙といのちがつながっていることを実感しています。波乗りも潜りも、人間は自然には逆らえないことを教えてくれる。海に入っていると謙虚になれる気がします。沖縄では冬から春にかけて、クジラが出産と子育てのために来ますよね。この時期に潜ると、海の中でクジラの声が聞こえるんですよ。沖縄の海ってホントにすごい！」





THE TRAVEL THAT YOU CAN ENCOUNTER ONCE IN A LIFETIME BEAUTIFUL SCENES

MB ギャラリーで、一期一会の美に出会う旅

万華鏡作家という顔も持つ、MB ギャラリー・アートディレクターの角敏郎さん。「万華鏡・ヒカリの模様」展では、日米の万華鏡作家たちの新作を紹介した。「これまでも、テレイドスコープと呼ばれる、新しいタイプの万華鏡を紹介してきました。閉じられた世界を楽しむのが従来のカレイドスコープ・万華鏡であるのに対して、テレスコープつまり望遠鏡の要素を組み合わせて、風景を楽しむ万華鏡がテレイドスコープです。ムーンビーチはテレイドスコープでのぞいて見たくなる、美しい自然のモチーフにあふれている。企画展では風景だけでなく、明かりのアート作品を見るという試みもありました。やちむんの明かり作品を展示した宮里朝善さんですが、その精巧な作品が、実はMBギャラリーの外にもあるんですよ。ビーチフロアの池の中にいるシーラカンスがそれです。なかなか迫力があって存在感もバツグン。ぜひチェックしてみてください」

角さんは、今後はもっとMB Galleryや館内の展示に、地元作家を起用していきたいと語る。

「例えば琉球ガラスの作家さんに万華鏡を作ってもらおうとか、新しいことをやってみたいですね。万華鏡は、10秒に1回ずつ、6回まわして1分でちょうど360度になるスピードで回し続けたら、最初に見たものと全く同じ景色になるのに、4628億8089万9576年かかると言われています。旅先で出会う、一期一会の景色をぜひお楽しみいただきたい」

一期一会の景色といえば、厳密には旅そのものが一期一会。40年、変わらないように見えるムーンビーチも、実は少しずつマイナーチェンジをしている。MBギャラリーのアートディレクターに角さんが就任して以来、ホテルのパブリックスペースにもアート作品が少しずつ増えていることにお気づきだろうか。ロビーや吹き抜け、階段の踊り場など、ホテル中のいろいろな場所で、ふとした時にアートと出会うサプライズが仕掛けられている。例えば左ページのオブジェは角さんの作品。フロントデスクのあるロビーに設置されている。

「エントランスに入って、吹き抜けの向こう側にビーチが見えて、フロントへ向かう左手、ちょうど壁が額縁みたいになっている場所です。これは実は2014年のクリスマスに向けて作ったもので、今後は若手も含め、いろんな作家の作品にどんどん変更していこうと思っています」

このオブジェの制作には、2カ月ほどかかったとか。

「ムーンビーチに、月がのぼって、日が沈む、星が出ていくというイメージです。2カ月かかったのは、全体を“眺めている”時間が結構あったから。最初は自分のイメージするものをたくさんつけていたんですが、バランスを見ながら余計なものをどんどん省いていった。シンプルにしていく過程で、“眺めて”いたんです。その中に1975を残したのは、もちろんムーンビーチの歴史を意識して。1975年のオープンから今年で40年。MBギャラリーでも何かしたいなあ、と」

7月からはモダンアートの立体作品の展示を考えていると語る角さん。

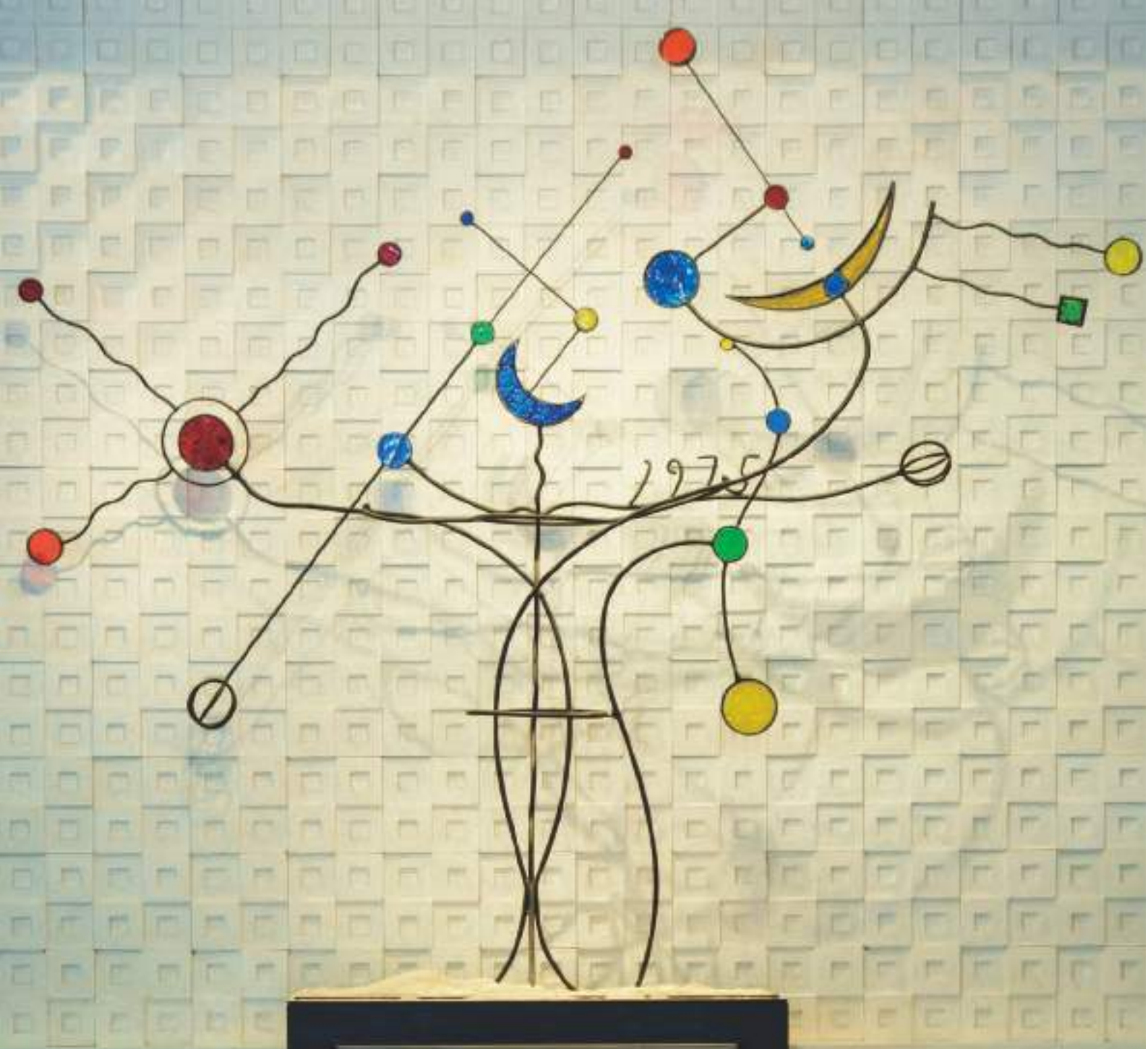
「できるだけ沖縄の若手作家さんを掘り起こして、MBギャラリーが彼らの発表の場となるようにしたい。ゆくゆくは環太平洋地域まで視野を広げて、島のアートが集まる場にしたら面白いじゃないかなと考えています」



- ① 作者／Davide Collier
作品／Elcan Burl ¥300,000～
- ② 作者／比嘉奈津子
作品／ランプシェード ¥50,000～
ひとつひとつに美しい技法と色彩を込めた温かい存在のランプ。
- ③ 作者／宮里朝善
作品／やちむんのランプシェード
光が模様になって浮かびあがる印象的な陶器のシェード。



2015年3月～7月5日
「万華鏡・ヒカリの模様」展示
万華鏡の国内外の作家の作品と明かりの作品の
コラボレーション展示
MB ギャラリー Hotel MoonBeach 1F
Open/09:30 Close/20:00



ART OF THE MOON

こころが自然に遊びだす「アート・オブ・ムーン」

ムーンビーチ1階ロビーフロアにある
「MBギャラリー」の今とこれからの、
アートディレクターの角敏郎さんに聞いた。

南の島と海と
トーテムポール

Southern Island, the Sea,
and Totem Pole



ムーンビーチといえばヤシの木とトーテムポール、茅葺きのマリnhausを思い浮かべる人も多いだろう。実はこれマリヌスタッフがデザイン&制作したものなのだ。南の島の雰囲気満載のトーテムポールだが、元々はアラスカなど北方の地が発祥だという。「35年程前に南国らしいデザインを自分で考え、古電柱を再利用して彫ったのが最初ですね」と語るのは当ホテルマリヌ・レジャー部門の朝尾部長。以来、次々と製作したオリジナルのトーテムポールが、敷地内の至る所でお客様を楽しませている。この度、ホテル館内に新たに設置したトーテムポールは、前職が歯科技工士だったというマリヌスタッフが手先の器用さを発揮して、精巧に仕上げた。ビーチに立つカラフルなものとは異なる白く独特の雰囲気と海からの使者のような姿が印象的だ。

Marine Wave

海と踊ろう！

アクティブに
夏を楽しもう！

Enjoy the summer!
Enjoy the marine activities!

海あそびについてのご相談は
マリヌカウンターへお気軽に！



まばゆいばかりの太陽とエメラルドグリーンの海に誘われて。さあ、アクティブシーズン到来！ムーンビーチでは家族みんなで楽しめるマリンスポーツメニューが充実。ビーチから船で約15分、サンゴ礁の海に浮かぶ無人島「ナップ島」へのピクニックツアーでは、亜熱帯の植物や生き物に出会い、シュノーケリングや浜辺でバーベキューを楽しんだり自然をまるごと体験！また、泳がなくても気軽に海中散歩が体験できるので、子どもから年配の方まで一緒に参加できる「シーウォーカー」も人気だ。透明度の高い海の中を不思議な浮遊感覚でウォーキング。熱帯魚やサンゴにふれる驚きと感動をぜひ！さらに、子どもたちが本格的なマリンスポーツを体験できる「キッズマリンスポーツ教室」もおすすめ。水上スキーやシュノーケルなど多彩なメニューをインストラクターが付き添って丁寧に教えるので安心だ。真っ青な空の下、家族みんなで沖縄の夏をエンジョイ！

Service with a Smile
vol.3

お客様の笑顔が
いちばんの喜び

Guest smile is the best of joy



レジャー部プールサイド担当
喜友名 裕也

プールスタッフとしてお客様の安全を見守って約3年になります。ムーンビーチのプールは吹き抜けの明るい空間にあり、半屋外でビーチに近いので、プールサイドからサンセットを眺めることができ最高です。ご家族で楽しんでいらっしゃるお客様が多いので、記念写真を撮ったり、お様が遊ぶのに夢中になって長い時間プールの中にいる場合は、寒くないですか？休憩した方がいいですよ。と声かけをするようにしています。せっかくの楽しいリゾートで体調を崩しては残念ですからね。時々「子どものことを気にかけてくださってありがとうございます」「写真を撮ってくれてありがとうございます。とっても楽しかったです。」といったお手紙をお客様からいただくことがあり、大変うれしいです。プールサイドでは2人のスタッフが交互に常駐し、安全面に気を配っています。監視員というちょっと怖いイメージがあるかもしれませんが、2人ともサービス精神たっぷり、元気も愛嬌もたっぷりなのでお気軽に話しかけてください。今日も笑顔でプールでお待ちしております！

noon Hot News!

2015
ムーンビーチルアウ

MoonBeach Luau



今年の夏も開催！屋外のステージで華やかなフラのショーやライブ演奏を楽しみ、ハワイアンフードを満喫し、フラやウクレレ、レイメイキングを無料体験！ムーンビーチがハワイになる2日間は、きっと忘れられない思い出になる。

2015年7月3日(金) 前夜祭
4日(土)5日(日) ムーンビーチルアウ
屋内外ステージ(ビーチフロア)



Art of Cover

ナップ島へ続く棧橋
夏の冒険はじまる

Pier leading to Nap Island,
starting summer of
adventure

シルクペインティング作家
太田 久代

Fun to Eat

食べるのが楽しい！

ランチタイムに ハワイの風

Hawaiian breeze
for your lunchtime

オールデイダイニング・コラーオ

Lunch/11:30~15:00(ラストオーダー14:30)

Dinner/18:00~22:00(ラストオーダー21:30)

和琉炉端焼 ゆらぎ月

Dinner/18:00~22:00(ラストオーダー21:30)



夏の眩しい太陽が降り注ぐコバルトブルーの海、風に揺れるヤシの葉を眺めながらスローな時間に包まれて、優雅にハワイアンランチはいかが？

自然と一体となった開放的な空間が心地いいオールデイダイニング「コラーオ」では、和洋中のシェフがハワイの香りをテーマに、趣向を凝らしたハワイアンランチを創作。セレクトランチでは「ポリネシアン海鮮丼」や、豚肉を月桃の葉で包んで蒸した沖縄風の「ラウラウとガーリックシュリンプのルアウセット」、「チャーシュー丼トロピカルセット」など、ハワイで古くから愛されている伝統料理と、いきいきとした島野菜や海と太陽の恵み、沖縄の食材が持つフレッシュなパワー、和洋中のエッセンスが融合した、オリジナリティあふれるおいしさを堪能できる。

今夏はバラエティ豊かな料理に彩られたハワイアンビュッフェをご用意。臨場感あふれるオープンキッチンからシェフたちが腕を振るう本格美味の数々。子どもから大人まで楽しめるコラーオならではのハワイアン料理をゆったりと味わえる。太陽と果てしない青空、気持ちよい海風が吹き渡り、自然と笑顔弾ける夏本番、ムーンビーチルアウやハワイアンフェスタなど、心躍る楽しいイベントも満載だ。ハワイ色に染まるムーンビーチで、南国気分が盛り上がる夏限定のハワイアンフードを心ゆくまで味わう至福のひとつ。思いっきりお腹を空かせてたっぷり召し上がれ！

Noon Promenade

夏の夕暮れ ムーンハワイヘトリップ

Twilight of summer,
trip to the Moon Hawaii

ムーンビーチハワイアンフェスタ7/1~9/22

「ハワイアンガーデンBBQ」
ガーデンバーベキュー&ライブステージ
大人¥3,980 小学生¥1,980
18:00~22:00(L.O.21:30)
場所: BF 星のバレットガーデン

「ラウンジ&バーライブ」
歌と演奏のライブ(日~木 21:20~21:50)
場所: 1F ラナイ



海と音楽とダンス、夕陽と美味しい料理とカクテル…。この夏、ムーンビーチではまるでハワイにいるような気分を満喫できる「ハワイアンフェスタ」を毎日開催。ビーチサイドのガーデンでは、海と緑に囲まれた野外ステージで音楽ライブやハワイアンフラッシュを楽しみながら、シェフが腕を振るう「ガーデンBBQプッフェ」を堪能。ハワイアンムード満点の雰囲気の中で味わう料理とゆったりとした解放感は格別だ。ムーンビーチに来て絶対に見逃せないのはサンセット。夏の燃えるような夕陽がキラキラと輝く水平線の彼方にゆっくりと沈み、オレンジやピンクのグラデーションに染まる空は息をのむほどロマンティックで、感動的な情景は心いつまでも強く鮮やかに刻まれる。海の香りを感じながらアウトドアで楽しむホテルメイドのBBQ、そして音楽とハワイアンショーのステージ。美しく印象的なサンセットビューを眺めながら海辺で過ごす、ムーンビーチならではの特別な時間だ。壮大なサンセットの余韻に浸り、南国の長い夜に心躍らせながら海辺のラウンジバー「ラナイ」へ。波音が聴こえてくるオープンエアの開放的な空間では、マイタイやブルーハワイなどトロピカルなシーズンカクテルとハワイアンフードでもてなしてくれる。吹き渡る風と心地よい音楽に身を委ね、魅力的なショーを楽しみながらムーンビーチで過ごす特別な夏、素敵なハワイ時間へ。



Tropical Style

40周年を記念して オリジナルグッズ 新作登場！

Celebrating our
40th Anniversary,
New Original Goods Release!!



セレクトショップ・コナ
Open/07:00
Close/22:00
Hotel MoonBeach 1F



1975年、リゾートホテルの先駆けとなったムーンビーチには、雄大な自然と調和する楽しいアイコンが同時に誕生！マリーンの象徴となる“太陽”やハワイムードたっぷりのショップロゴが40周年を記念してムーンリゾートオリジナルグッズに変身！スーベニアとしてだけではなくみんなのデイリーにリゾートの愉快がずっと続くことを願って！moonオリジナルカミングスーン！

Ocean Style Breakfast



SHALL WE HAVE AMERICAN STYLE BREAKFAST NEXT WEEKEND?

アメリカの家庭料理を、ゆったりと楽しむ週末

ムーンオーシャン宜野湾に、日本人にもどこか懐かしいアメリカンスタイルのブレックファーストメニューが週末限定で登場。カリカリのベーコンや、ひき肉と生クリームを使った家庭料理クリームビーフなどのアメリカンな味は、長期滞在中の外国人のお客様にも「ここは僕らのホームだね」「ここでの週末には、寝坊とブレックファーストという二つの楽しみがある」と大好評。日曜朝の教会の帰りだというビジターのお客様も増えています。

平日は忙しくてご家族と過ごす時間が取れない方、週末はパンケーキやエッグベネディクトなどを召し上がりながら、ゆっくり家族の時間を楽しんでみてはいかがでしょうか。ブレックファーストタイムは夕方5時まで。時間を気にせず過ごせるのも、うれしい限りですね。

At Moon Ocean Ginowan, an exclusive weekend surprise awaits you. Starting this spring we are offering a taste of traditional american style breakfast menu, we believe the Japanese community will find this equally nostalgic. Our crispy bacon and old-fashioned home-made creamed beef has always been a favorite among our long staying guests with many rejoicing "this is just like home!!". Moreover guests can sleep in and still enjoy late afternoon breakfast. Lately visitors returning from Sunday church services are also increasing. For those who lack spending quality time with your family on weekdays, come and enjoy treasured moments with your loved ones over our delicious Pancakes and Eggs Benedict served with perfectly-poached eggs and creamy hollandaise sauce. Weekend Breakfast is until 5:00 p.m. what a perfect way to spend a comfortable and relaxing time this weekend.



ウィークエンドブレックファーストは毎週土日の11:30~17:00限定。
(奥) グリルベーコンと卵、フライドポテト (中) スパイシーソーセージと卵、フライドポテト (手前) エッグベネディクト、フライドポテト※全てコーヒーまたは紅茶付 ¥1300

Local Area Guide

「ムーンオーシャン宜野湾 ホテル&レジデンス」
周辺ガイド



ホテルの目の前にある宜野湾マリーナ。
散策にもオススメです。



ホテルから徒歩3分のトロピカルビーチ。
地元在住の外国人にも大人気。



米軍基地で開催されるフリーマーケットは一般の日本人も
入場可能。日本円でもOKですが、米ドルを用意されるとさ
らにアメリカ気分。

キャンプフォスター(北谷町・国道58号線沿い)
毎月第一土曜日・日曜日/12:00~15:00
キャンプキンザー(浦添市・国道58号線沿い)
毎月第三土曜日・日曜日 12:00~15:00



ハーレーダビッドソン沖縄。バイクショップですが沖縄限
定のオリジナルシャツなども販売。
(宜野湾市大山1-10-18/TEL098-870-9980/月曜定休)



MIX life-style. オシャレな家具や雑貨が並ぶセレクト
ショップ。2階にはD&DEPARTMENT OKINAWAも。
(宜野湾市新城2-39-8/TEL 098-896-1993)

ENJOY OCEAN STAY WITH YOUR STYLE

自分スタイルで ご宿泊を楽しんでいただくために

長期滞在のお客様が多いムーンオーシャン宜野湾では、
もっと使いやすい・暮らしやすくという視点でのリクエスト
をいただくことも。とはいえ、快適な環境は人それぞれ。
ホテルとしてリクエストのすべてにお応えすることもで
きず、心苦しいこともしばしばありました。「シーツは毎日
交換しなくてもいい」という声があった時、ホテル全体で
どうするか考えました。エコのために連泊のお客さまは
シーツやタオルの交換をしないというののも一つの考え方。
ですが、旅先だからこそ毎日洗いたてのシーツで贅沢気分
を楽しみたいという方もいらっしゃいます。私どもはホテ
ルの考え方を押しつけるのではなく、お客さま一人お一
人が、ご自分にとって心地よい過ごし方をお選びいただ
ける方法について考えました。そこで、シーツやタオルの交
換について、要・不要を意思表示できるカードを導入す
るに至りました。

また、ムーンオーシャン宜野湾公式サイトよりご予約い
ただいたウィークリープラン・マンスリープランのお客さ
ま限定で、レジデンシャルメンバーズラウンジをご用意。
お部屋でもレストランでもない、第二の書斎としてごゆっ
くりお過ごしいただけます。



1975

天然のビーチに低層のウィングを広げるたたずまい。島をわたる風にそよぐヤシの木、緑をふんだんに取り入れた空間。めまぐるしく動く日常から少しだけ離れて、この島の抜けるような夏空と、さまざまな表情を見せる海を眺めに来ませんか。1975年の創業以来、ホテルムーンビーチはここにしかないものを大切にしてきました。これからも、これまでと変わらない笑顔で、お客さまをお迎えいたします。

